

品川区教育委員会会議記録

平成 23 年 第 12 回 定例会

場 所 教育委員室

期 日 平成 23 年 9 月 13 日

開 会 午後 2 時 00 分

閉 会 午後 2 時 45 分

出席委員	委 員 長	市 川 信之助
	委員長職務代理者	鈴 木 敏夫
	委 員	細 川 珠生
	委 員	安 尾 久子
	教 育 長	若 月 秀夫
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	田 村 信二
	庶 務 課 長	齋 藤 信彦
	学 務 課 長	和 氣 正典
	指 導 課 長	冠 木 健
	品川図書館長	中 元 康子
	保 育 課 長	吉 岡 卓

議 事 運 営 お よ び 委 員 長 、 教 育 長 報 告 事 項 等	・ 署名委員に鈴木委員、安尾委員を指名 ・ 日程第2 報告事項1「平塚幼保一体施設について」について、品川区教育委員会会議規則第20条の規定に基づき保育課長の出席を求めている。 ・ 日程第2 報告事項3「都費教職員の任免等に関する報告について」は品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。
--	--

件名	日程第1 第43号議案 品川区立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の立案請求について
担当課説明等	(学務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	原案可決

件名	日程第2 報告事項1 平塚幼保一体施設について
担当課説明等	(学務課長) ・ 保育課長より説明する (保育課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員D) ・ 並列型との説明だが、保育園、幼稚園それぞれの4、5歳児は、別の教室となるのか。 (委員C) ・ 今回の施設は並列型だが、年齢区分型にしなかった理由は何か。 (委員D) ・ 年齢区分型より、並列型のほうが、受入枠は多くなるのか。 (委員E) ・ 4、5歳児の保育園、幼稚園の活動内容に違いはあるのか。 (委員A) ・ 今後、幼保一体施設の計画はあるのか。
事務局説明	(保育課長) ・ 保育園、幼稚園の教室は、別の教室となる。ただし、施設としては適宜、共同運用を実施し、保育・教育を行うなど十分な交流を行っていく。 ・ 平成22年度に保育園待機児童が大幅に増加する懸念が生じ、保育園の受入枠を拡大することが区の臨時施策となった。本来ならば幼保一体施設は3歳児までの保育園と4歳児からの幼稚園という年齢区分型となるところであるが、待機児童対策の一環という性格上、本施設は受入枠拡大を図る上で有効な並列型に変更した。 ・ 年齢区分型の場合、保育園の3歳児の定員人数がそのまま幼稚園の4歳児の定員人数枠の中に持ち上がるため、幼稚園4歳児からの入園児数が圧迫されることとなる。一方、並列型の場合、4、5歳児の保育園の定員とは別枠で、幼稚園の定員枠を確保し、預かり保育の実施も含め、キャパシティが増えることとなる。 ・ 昨年6月にオープンした第一日野すこやか園も並列型で運営している。保育園、幼稚園と違いはあるが、同じ施設で運営しており、教室は別だが同じ乳幼児教育の理念に基づく保育・教育を実践し、基本保育時間には、適宜、共同で活動を行い、幼保一体施設の特性を活かした保育教育を行っている。第一日野の実績を踏まえ、平塚においても共同での活動を実施していく。 ・ 今回の平塚の施設を含めた5園が、現在の計画となっている。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項2 9月補正予算について
担当課説明等	(指導課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員C) - 今回の補正予算で臨時職員配置にかかる事務処理特例交付金の1390万は、品川区の状況に合わせた予算編成ということか。 (委員C) - 資料の社会保険料の説明にある35人の根拠は何か。 (委員D) - 実際の臨時職員の見込人数は何人か。 (委員C) - 区内全校で、体力調査を継続して実施していると思うが、調査結果が低位を推移している学校については把握しているか。
事務局説明	(指導課長) - 事務処理特例交付金について、当初予算では毎年産休や育休の事例があるため、545万円を計上した。しかし、その後、欠員補充対応でさらに臨時職員の配置が必要となったため、補正予算で1,390万円の追加が必要となった。 35人については、算出根拠としての延べ人数である。 - 毎年事例として、2～3人ということが多かった。今年度の現時点で、事務処理特例交付金の対象となるのは、栄養士7校、事務職員1校、合計8事例あり、これを含め今回補正を行う。 - 体力調査の結果は、蓄積しており各学校の状況は把握している。調査結果から、継続的に体力向上に取り組んでいる学校は、区の体育大会などで良い成績を上げている。 - スポーツ教育推進校委託金については、今後、個々の学校のデータも考慮し、該当校への推薦や教育委員会事務局からの積極的な働きかけなどといった取り組みを進めていく。
委員意見要旨	(委員C) スポーツ教育推進校委託金について、教育委員会事務局は、品川区の具体的な実態を把握し、データや事実に基づき各学校に呼びかけや働きかけを実施してほしい。
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項3 都費教職員の任免等に関する報告について
担当課説明等	
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。

件名	日程第2 報告事項4 秋の図書館行事の開催について
担当課説明等	(品川図書館長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員B) ブックフェアの各館の催し内容はどんなものになるのか。
事務局説明	(品川図書館長) 資料にある「今、できること」を全館共通テーマとし、東日本大震災の被災地への支援メッセージを込めて、各館においてサブテーマを設定する。たとえば品川図書館では「K I Z U N A ～ともに生きる～」とし、過去の大災害の経験談が掲載されている本や、今回の地震の写真集などを紹介する。また地区館では、たとえば荏原図書館では「がんばろう日本・岩手県」とし、岩手県の歴史、文化を紹介する。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項5 品川区行政評価委員会の審議結果について
担当課説明等	(品川図書館長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員 E) 今までの教育委員会の点検評価で話題となっていた、CDやDVDを図書館の蔵書とすることに対する意見はあったか。
事務局説明	(品川図書館長) 今回の行政評価委員会では、CDやDVDに関する意見は出なかった。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第3 その他 平成23年10月の行事予定について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明 ・ 10月の委員会開催について、10月18日に臨時会を開催することとしたい。
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	・ 10月の教育委員会開催を10月18日、10月25日とする。

件名	日程第3 その他 放射性セシウムに汚染された稲わらを与えられた可能性のある牛の肉の給食使用および学校の節電について
担当課説明等	(学務課長) - 放射性セシウムに汚染された稲わらを食べた可能性がある2頭の牛のひき肉が、給食に使用されたことが確認された。 - 各学校の状況に応じた保護者宛緊急メール配信を8月23日から順次行った。さらに9月1日に、文書にて保護者へ詳しくお知らせをした。 - 保護者からは、八潮学園において、牛の個体識別番号の問い合わせが1件あった。残りは、区の対応に対する感謝や信頼のコメントが寄せられた。 9月からは、給食食材の産地について全ての学校で掲示し、またホームページでも情報提供している。なお、牛肉については当面の間は使用しないこととしている。 - 学校での7月の節電状況は、全学校平均で前年比マイナス28.16%となり、節電目標を達成した。 - 国が9月9日に電力の使用制限を終了し、区についても夜間の校庭利用や図書館の休館解除など、今後の方針を決定した。 - 学校については、安全を考慮しつつ柔軟に対応し、引き続き節電の努力を継続する。
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	(委員A) 今回、節電を行ったことで、我々は今まで明るくするために電力を使いすぎていたと実感した。今後も引き続き節電をお願いするとともに、ご協力いただいた皆様に感謝をしたい。
議事結果	了承